

【1】次の表をみて、あとの問いに答えなさい。

県名	県庁の所在地	主な都市	県鳥	工芸品・名産・史跡・名勝・半島など
岩手	盛岡	(5)	キジ	南部鉄器・わんこそば
宮城	仙台	石巻・大崎	ガン	鳴子のこけし・ ^(A) 牡鹿半島
栃木	(1)	小山・栃木	オオルリ	(12)
新潟	新潟	(6)	(9)	(13)
石川	金沢	白山・小松	イヌワシ	兼六園・ ^(B) 能登半島
長野	長野	松本・上田	(10)	(14)
愛知	名古屋	豊田・一宮	コノハズク	桶狭間古戦場・ ^(C) 渥美半島
三重	津	四日市・鈴鹿	シロチドリ	伊勢神宮・松阪牛 ^(D) ・志摩半島
滋賀	大津	(7)	カイツブリ	(15)
兵庫	神戸	(8)	(11)	明石海峡大橋・六甲アイランド
島根	(2)	出雲・浜田	ハクチョウ	出雲大社・石見銀山
香川	(3)	丸亀・坂出	ホトトギス	オリーブ・小豆島・満濃池
愛媛	(4)	新居浜・西条	コマドリ	(16)

問1 (1) にあてはまる県庁所在地名を答えなさい。

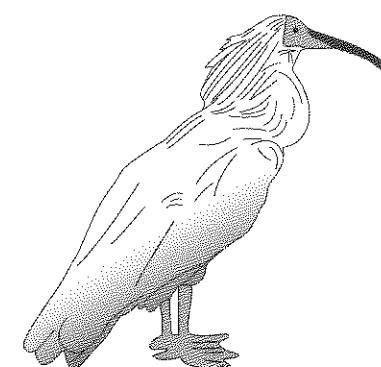
問2 (2)～(4) の県庁所在地名には、共通する漢字が1字あります。
その漢字を答えなさい。

問3 (5)～(8) にあてはまる都市の組み合わせとして正しいものを、
次の(ア)～(キ)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

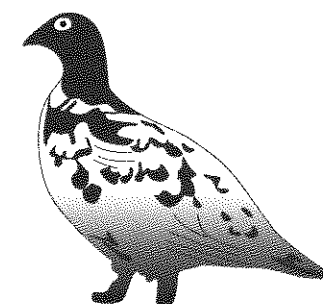
- (ア) 草津・彦根 (イ) 姫路・西宮 (ウ) 長岡・上越
(エ) 一関・奥州 (オ) 倉敷・津山 (カ) 米子・倉吉
(キ) 川口・春日部

問4 (9)～(11) にあてはまる県鳥として正しいものを、次の(ア)～(エ)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

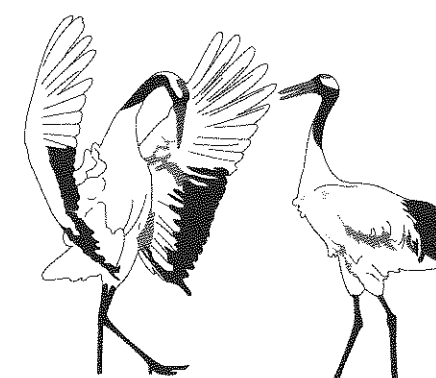
(ア)



(ウ)



(イ)



(エ)



問5 (12)～(16)にあてはまるものを、次の(ア)～(ケ)の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| (ア) 袋田の滝・筑波山・牛久大仏 | (イ) 那須高原・男体山・中禅寺湖 |
| (ウ) 魚沼産コシヒカリ・小千谷ちぢみ | (エ) 野尻湖・善光寺・軽井沢 |
| (オ) 尾瀬沼・草津温泉 | (カ) 道後温泉・今治のタオル |
| (キ) 近江牛・安土城跡・信楽焼 | (ク) 知床自然遺産・旭山動物園 |
| (ケ) 秩父夜まつり・川越蔵造りの町 | |

問6 表中の下線部(A)～(D)の半島として正しいものを、次の(ア)～(カ)の略地図の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。ただし、縮尺はそろえていません。



【2】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本と朝鮮半島は、古くから交流がありました。例えば、^(A)米作りは縄文時代の終わり頃に中国や朝鮮の人々が日本へ伝えたと考えられています。下の写真1は、弥生時代初めに、稲を刈りとるときに使われた(1)という道具で、朝鮮半島から伝わったと考えられています。



写真1

日本と朝鮮半島の交流は続き、日本は百済と友好関係を築いて^(B)仏教などの進んだ文化が伝わりました。後に百済は唐・新羅によってほろぼされますが、この際日本は百済を助けるために援軍を送ったものの、(2)の戦いで敗れました。しかし、その後は新羅と交流を持ち、新羅がほろびた後も、新しくできた高麗の商人が日本にきて貿易を行いました。

1200年代後半に、元のフビライ=ハンから^(C)鎌倉幕府の8代執権(3)に降伏を求める使者が送られました。かれがこれを断ったため、元は先に降伏していた高麗の軍隊を加えて日本をせめましたが、幕府は何とかこれを退けました。

これ以降、日本と朝鮮半島の関係はうすくなりましたが、室町幕府の3代将軍(4)が高麗に代わった朝鮮王朝との間に外交関係を結んでから、長い間活発な交流が続きました。

戦国時代を経て日本を統一した^(D)豊臣秀吉は、中国進出の足がかりとして九州の諸大名を中心に朝鮮出兵を命じ、朝鮮の人々に大きな被害をあたえました。その後、徳川家康が朝鮮との外交関係を回復させ、江戸時代を通じて交流が行われました。

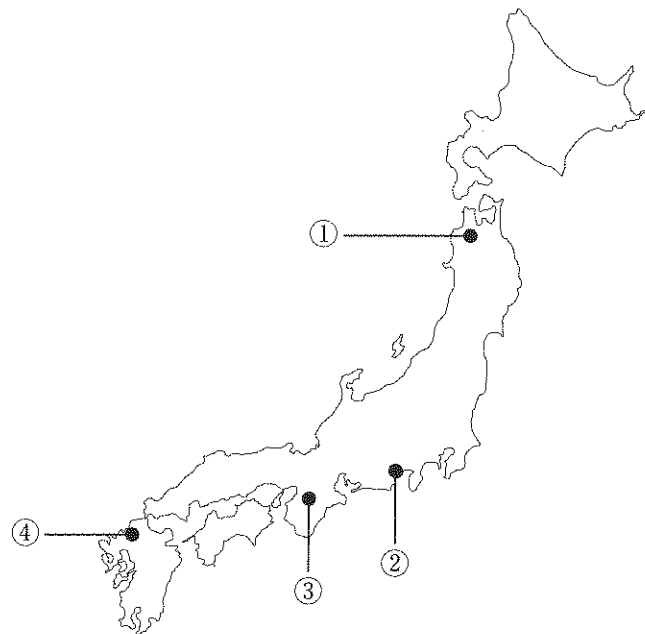
ペリー来航をきっかけに江戸幕府がたおれ、新しくできた政府は大陸への進出をはかりました。日本は朝鮮をめぐる諸外国との戦争に勝利すると、初代内閣総理大臣をつとめた(5)を統監に任命して朝鮮への支配を強め、かれが暗殺されると、それを口実に朝鮮を植民地としました。

(E) 1930年代に入ると、日本は中国への進出を強め、国際社会から批判を浴び、ついに太平洋戦争にふみきました。戦後、朝鮮半島は独立しましたが南北に分裂し、1950年から3年間にわたる(F)朝鮮戦争が起きました。日本は1965年に韓国政府と外交関係を回復しましたが、北朝鮮政府とはいまだに外交関係を結んでいません。

現在、日本と韓国や北朝鮮との間にはいくつかの問題が存在しています。しかし、これまでの日本と朝鮮半島の歴史をたどれば、様々な困難がありながらも2000年以上もの間交流があります。おたがいの歴史を理解することは、現在の問題を解決するための手助けにもなるはずです。

問1 (1)～(5)にあてはまる語句・人名をそれぞれ答えなさい。

問2 下線部(A)が行われていた板付遺跡^{いたづけ いせき}の場所を、次の地図中①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。



問3 下線部(B)について、日本における仏教の歴史の説明として誤っているものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 聖徳太子は法隆寺^{ほうりゅう}を創建した。
- (イ) 唐の鑑真^{がんじん}は来日して多くの僧を育てた。
- (ウ) 空海は真言宗を開いた。
- (エ) 日蓮^{にちれん りんざい}は臨済宗を日本に伝えた。

問4 下線部(C)の説明として誤っているものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 侍所^{さむらいどころ}は幕府の財政を管理した。
- (イ) 御家人を守護・地頭に任命した。
- (ウ) 武士の裁判の基準となる御成敗式目をつくった。
- (エ) 借金に苦しむ御家人のために永仁の徳政令を出した。

問5 下線部(D)の説明として誤っているものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 現在の愛知県の出身で、織田信長に仕えた。
- (イ) 本能寺の変後、明智光秀^{あけち みつひで}をたおした。
- (ウ) 天皇から摂政^{てんのう}に任命され、後に太閤^{たいこう}と呼ばれた。
- (エ) 小田原の北条氏をほろぼし、東北の諸大名を従えて全国を統一した。

問6 下線部(E)のできごと①～③を年代順に正しく並べたものを、次の(ア)～(カ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 日本が国際連盟から脱退した。
 - ② 満州にいた日本軍が中国軍を攻撃^{こうげき}し、満州事変が起きた。
 - ③ 二・二六事件が起こり、軍部が力をにぎった。
- (ア) ①→②→③ (イ) ①→③→② (ウ) ②→①→③
 (エ) ②→③→① (オ) ③→①→② (カ) ③→②→①

問7 下線部(F)をきっかけに、アメリカは日本に再軍備を指示しました。これにより、保安隊から発展する形で1954年に発足した組織名を答えなさい。

問8 昨年、世田谷学園の中学3年生は、九州への修学旅行で、江戸時代以降盛んになった有田焼の見学を行いました。九州の焼き物の創始者に朝鮮半島出身の人物が多い理由を、本文を参考にして説明しなさい。

【3】 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

(A) 地球環境問題は、国際的な協力がなくては解決できません。1972年に、スウェーデンの(1)で開かれた(B) 国連人間環境会議では、国連を中心に各国が協力する体制がつくられました。1992年には、ブラジルの(2)で国連環境開発会議が開かれ、二酸化炭素の排出量を抑制する地球温暖化防止条約が結ばれました。また、将来の世代の利益や欲求をそこなわずに、地球環境に配慮して節度ある開発をおこなう「持続可能な開発」という考え方がうち出されました。

1997年には、(C) 地球温暖化防止京都会議が開かれ、(D) 温室効果ガスの削減目標値をもちこんだ議定書が採択されました。当時、最大の排出国だった(3)が京都議定書から離脱しましたが、京都議定書は2005年に発効しました。その後、京都議定書にかわる温暖化対策の枠組みを決めるための交渉が続けられ、2015年、地球温暖化防止条約に加盟する196カ国・地域が削減に参加する(4)協定が採択されました。

日本でも、産業や生活のあり方を見直し、(E) 二酸化炭素の排出量をおさえる低炭素社会がめざされています。国や(F) 地方公共団体、企業だけでなく、今日では、国境をこえて環境を守ろうとする市民の運動の輪も広がりつつあります。

問1 文中(1)・(2)・(4)に入る都市名をそれぞれ答えなさい。

問2 文中(3)に入る国名を答えなさい。

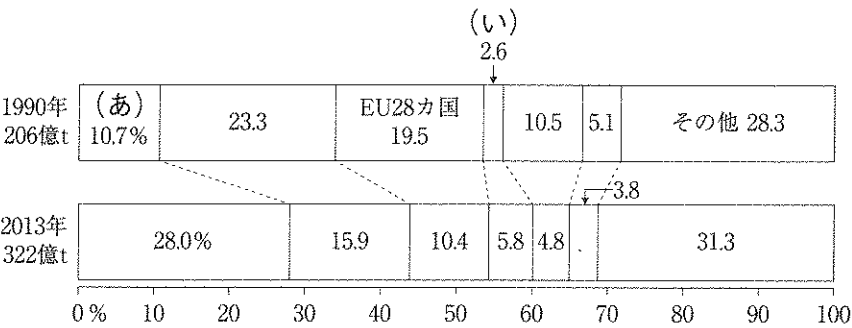
問3 下線部(A)の例として誤っているものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。ただし、誤っているものがない場合は、(オ)と答えなさい。

- (ア) 工業化の進展や自動車の普及による大気汚染や酸性雨
- (イ) 過剰な家畜の飼育や過度な農業開発による砂漠化
- (ウ) フロンガスの排出によるオゾン層の破壊
- (エ) 火山の噴火による家屋の倒壊

問4 下線部(B)でのスローガンを9字で答えなさい。

問5 下線部(C)では、先進国と発展途上国との対立がみられました。このとき、発展途上国が主張したことを説明しなさい。

問6 下線部(D)について、次のグラフは二酸化炭素排出量の割合を国や地域別に表したものです。グラフ中の(あ)(い)の国名の組合せとして正しいものを、あとの(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。



	(あ)	(い)
(ア)	中国	日本
(イ)	日本	インド
(ウ)	インド	中国
(エ)	中国	インド

問7 下線部(E)の取り組みとして誤っているものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。ただし、誤っているものがない場合は、(オ)と答えなさい。

- (ア) 自家用車ではなく、公共の交通機関を利用する。
- (イ) 資源ごみなどの分別をきちんと行う。
- (ウ) 冷房の温度設定を低くしすぎない。
- (エ) 電気製品などは、常に新しいものに買い換える。

問8 下線部(F)の取り組みの一つとして、東京都が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協力して、あるものからオリンピック・パラリンピックのメダルを製作するために実施していることを説明しなさい。

データは「日本国勢図会2016/17」による

社 会
[解 答 用 紙]

【1】

問 1				問 2		問 3	(5)	(6)	(7)	(8)	問 4	(9)	(10)	(11)
問 5	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	問 6	(A)	(B)	(C)	(D)				

【2】

問 1	(1)	(2)			(3)			(4)			
	(5)	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6	問 7				
問 8											

【3】

問 1	(1)	(2)		(4)		問 2		
問 3		問 4						
問 5								
問 6		問 7		問 8				

受験番号		氏 名		得	
				点	